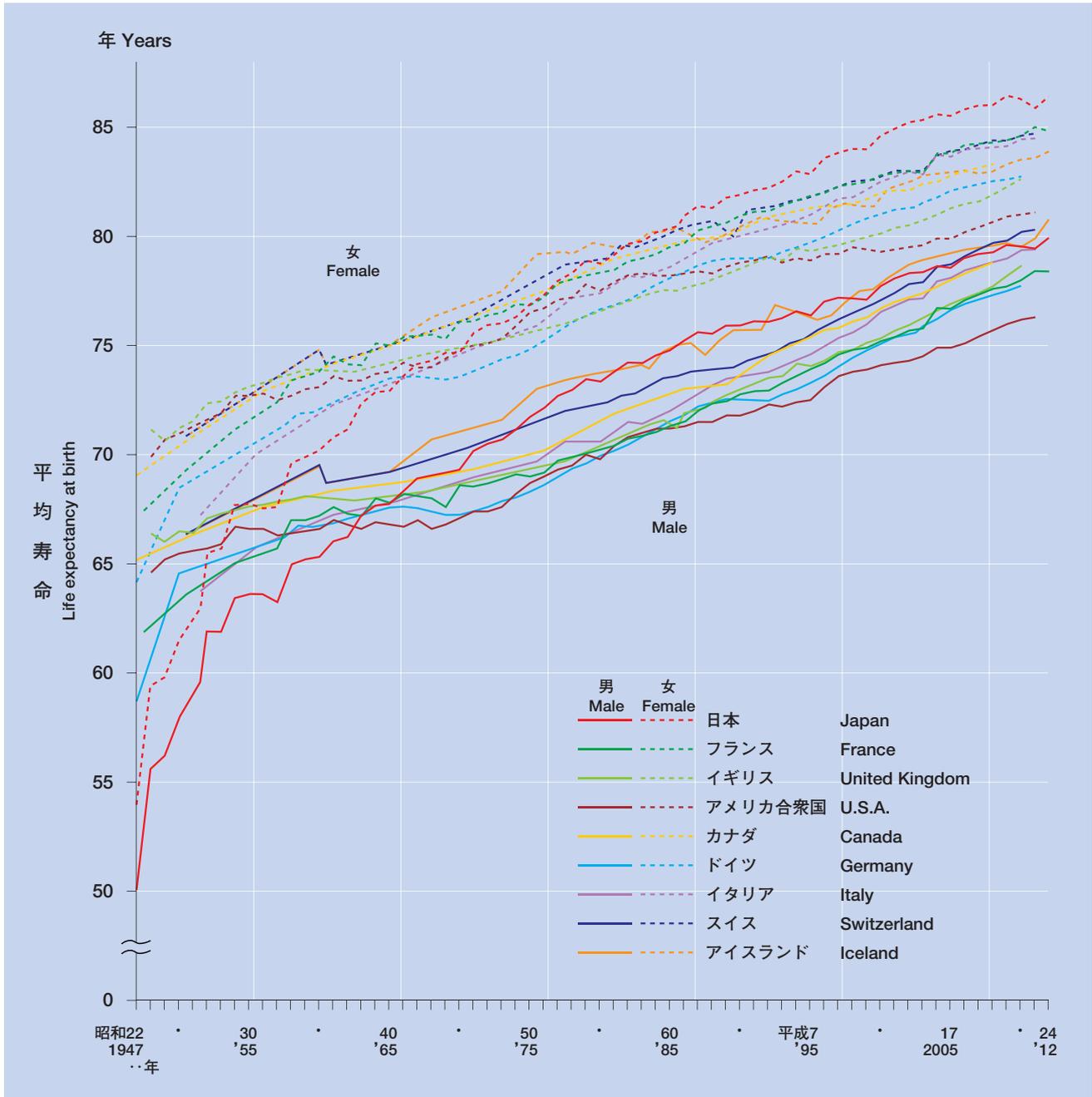


平均寿命 Life expectancy at birth

日本人の平均寿命 平成24年は男79.94年・女86.41年

各国の平均寿命の年次推移 1947～2012年

Trends of life expectancies at birth in selected countries, 1947—2012



注：1990年以前のドイツは、旧西ドイツの数値である。
 資料：厚生労働省「完全生命表」、「簡易生命表」
 諸外国は、UN「Demographic Yearbook」等

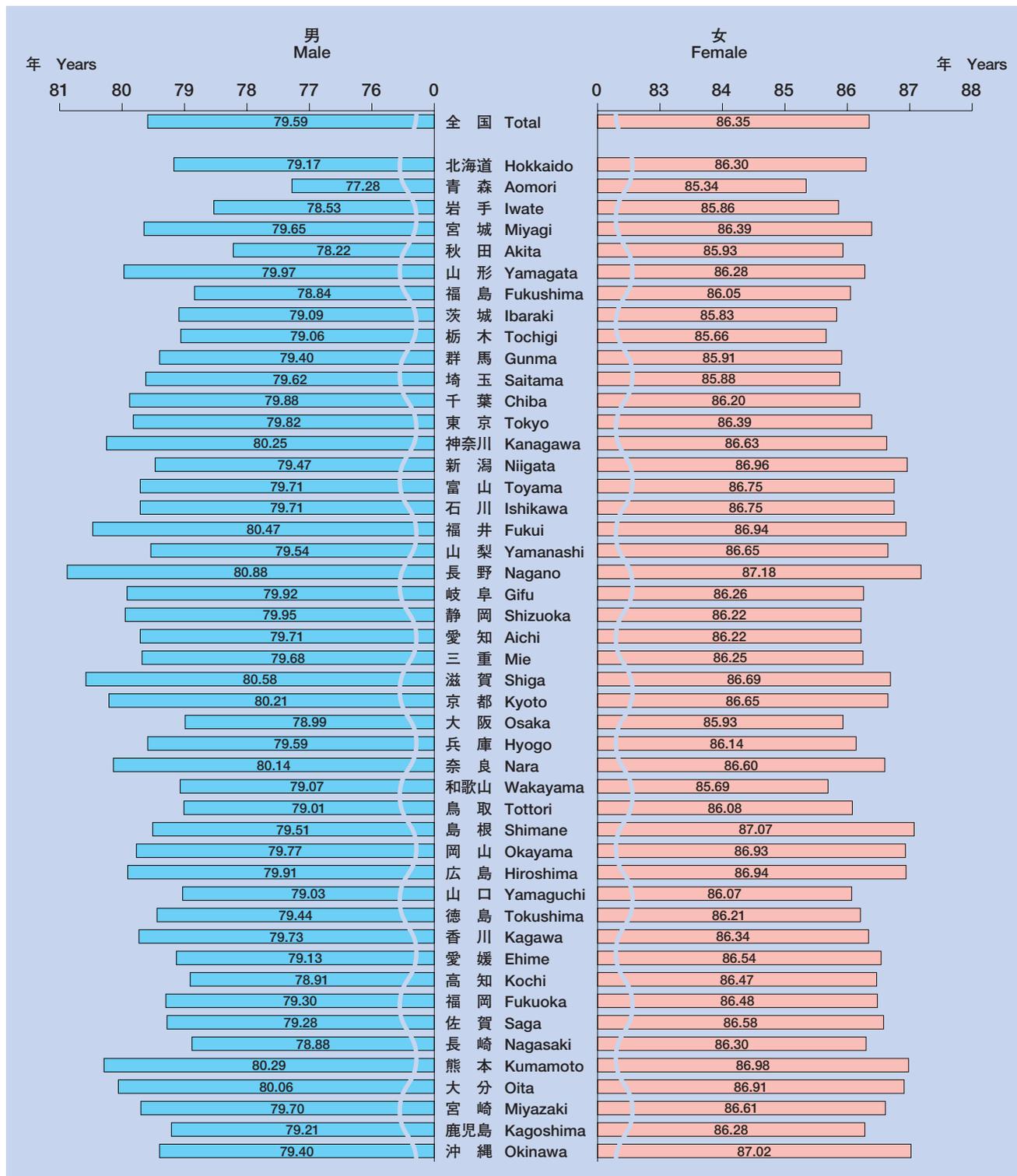
平成24年簡易生命表によると、男の平均寿命*は79.94年、女の平均寿命は86.41年であり、前年と比べて男は0.50年、女は0.51年上回った。

国によって平均寿命の作成基礎となるデータの時点などが異なるため厳密な国際比較は難しいが、現在入手している資料を用いて比較すると、我が国の平均寿命は、男女ともに世界のトップクラスであるといえる。

*平均寿命とは、0歳の平均余命のことである。平均寿命はすべての年齢の死亡状況を集約したものとなっており、保健福祉水準を総合的に示す指標として広く活用されている。

平成22年の都道府県別の平均寿命は、男性、女性とも長野が最も高い

都道府県別平均寿命—平成22年—
Life expectancies at birth by prefecture, 2010

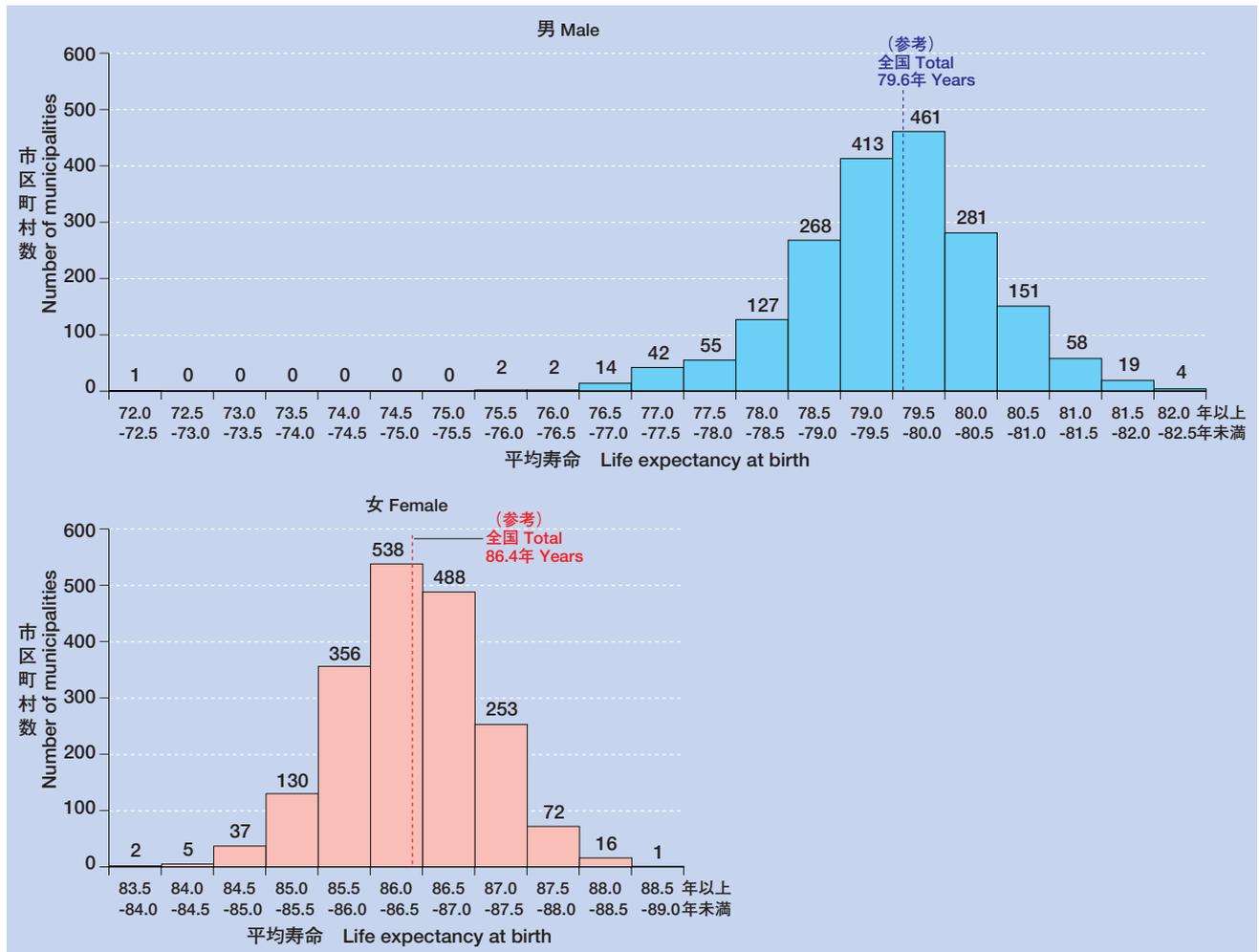


平均寿命を都道府県別にみると、男では、長野が80.88年で最も高く、次いで滋賀（80.58年）、福井（80.47年）の順となっている。女では、長野が87.18年で最も高く、次いで島根（87.07年）、沖縄（87.02年）の順となっている。

平均寿命の最も高い都道府県と最も低い都道府県との差は、男3.60年、女1.84年となっている。

平成22年の市区町村別の平均寿命は、男性は長野県松川村、女性は沖縄県北中城村が最も高い

市区町村別平均寿命の分布—平成22年—
Distribution of life expectancies at birth by municipality, 2010



市区町村別平均寿命（上位5市区町村）—平成22年—
Life expectancies at birth by municipality (Top5), 2010

(単位：年)

順位	男				女			
	都道府県	市区町村		平均寿命	都道府県	市区町村		平均寿命
1	長野県	北安曇郡	松川村	82.2	沖縄県	中頭郡	北中城村	89.0
2	神奈川県	川崎市	宮前区	82.1	島根県	鹿足郡	吉賀町	88.4
3	神奈川県	横浜市	都筑区	82.1	北海道	有珠郡	壮瞥町	88.4
4	長野県	塩尻市		82.0	熊本県	菊池郡	菊陽町	88.3
5	沖縄県	島尻郡	南風原町	81.9	福岡県	太宰府市		88.3

平均寿命を市区町村別にみると、男では79.5年以上80.0年未満、女では86.0年以上86.5年未満に最も多く分布している。男では長野県松川村が82.2年で最も高く、次いで神奈川県川崎市宮前区（82.1年）、神奈川県横浜市都筑区（82.1年）となっている。女では沖縄県北中城村が89.0年で最も高く、次いで島根県吉賀町（88.4年）、北海道壮瞥町（88.4年）となっている。

